

松戸市シルバー人材センター

はつらつ松戸

「自主・自立、共働・共助」 第46号

会員数

男性 1,587人

女性 467人

2,054人

平成26年3月末現在

編集・発行

公益社団法人

松戸市シルバー人材センター

〒271-0043

松戸市旭町1-174

TEL 047(330)5005

FAX 047(330)5008

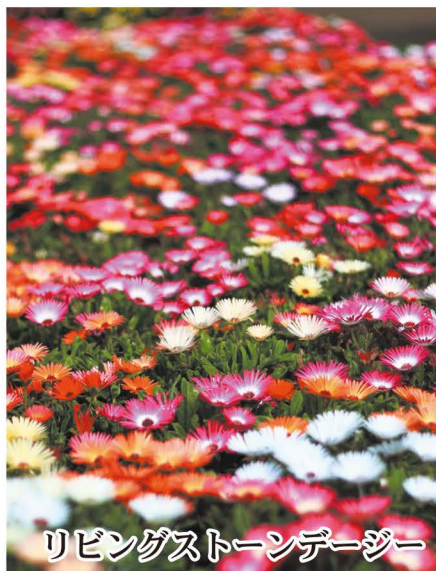
松戸市シルバー人材センター

ホームページ

www.matsudoshi-silver.or.jp

E-mail matsudo1@sjc.ne.jp

発行 平成26年5月1日



リビングストーンデージー



キレンゲツツジ

—シリーズ・松戸の四季—

ゆいの花公園



ケヤキ



シバザクラ

新年度を迎えて



理事長
高橋 邦雄

新年度がスタートしました。予算は、前年度より少し多めの約9億5千万円。受託事業収入分を、やや多めに見積もって編成致しました。早く10億円の大台に乗ればよいのですが、なかなか思うようにいきません。

そこで今年度の事業計画の中に、受託事業を増やすために「一年間に一会員一就業開拓」というキャッチフレーズで行動計画が立てられました。もちろんその実現は困難なことは承知しておりますが、そういう意気込みでということ

です。具体的には、会員の皆さんに仕事をして頂いた時に、その現場周辺の個人宅や集合住宅等に、シルバー人材センターのチラシをポスティングしていただいて、就業開拓につなげようという試みです。

シルバー事業PRのために、駅でティッシュなど配ってい

ると、「えっ、そんな仕事もやってくれるの？」などの声をよく聞きます。意外にシルバーの存在が知られていないことに驚きます。

会員の皆さんにシルバー事業のPRに加わって頂くことで、知名度が上がれば、受託事業も増え、就業率も上がり、会員も増えるだろうという算段です。ぜひご協力をお願いします。

シルバー人材センターは会員の皆さんで運営されています。今月末には定時総会が開催されますので、多くの会員のご参加をお願いします。

そろそろ初夏の候。まもなくあの暑い夏がやってきます。会員各位におかれては、脱水症や体調不良のご心配をお忘れなく、体調を十分に整えてお過ごし下さい。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇

新年度総会開催のお知らせ

公益社団法人松戸市シルバー人材センターの定時総会を左記の通り開催します。

日時 平成26年5月29日(木)
13時

場所 松戸市民会館

理事就任一年を振り返って

理事 恵一(11班)

理事を仰せつかつて、まだ1年に満たない未熟児です。これから丈夫に育つか、途中でボシヤるか?? なぜかという、未だ役に立ってない、自分から仕掛けて行くことがない。

新しいものの好きで、過去をあまり追わない私。このままではボケて忘れるだけだ。

もっとシルバー会員全体が働きやすくなるようなやり方を、提案できるよう務めていきたい。

◆理事会報告◆

◆第8回 平成26年1月21日

(1) 承認事項

・入会者の承認について

(2) 報告事項

・事業実施状況報告について

・平成26年度事業計画(案)について

・専門部会関係

◎専門部会等の活動状況報告

報告

(3) その他

◆第9回 平成26年2月25日

(1) 承認事項

・入会者の承認について

(2) 報告事項

・事業実施状況報告について

・予算執行状況について

・平成26年度事業計画(案)について

・専門部会関係

◎専門部会等の活動状況報告

(3) その他

◆第10回 平成26年3月17日

(1) 承認事項

・入会者の承認について

(2) 議案事項

議案第2号 公益社団法人松戸市シルバー人材センター

平成25年度第1回収支補正予算について

議案第3号 公益社団法人松戸市シルバー人材センター

平成26年度事業計画について

議案第4号 公益社団法人松戸市シルバー人材センター

平成26年度収支予算について

(3) 報告事項

・事業実施状況報告について

・役員賠償責任保険の加入について

・専門部会関係

◎専門部会等の活動状況報告

(4) その他

事務局からのお知らせ

○消費税率変更に伴うシルバー関連業務の料金改定について

今年4月1日より消費税が8%に改定されました。これに伴い、シルバー業務の料金も、事務費を1%引き上げ、6%とさせて頂くよう、予めお取引のお客様へご案内し、4月より実施しております。会員の皆様におかれては、以上を念頭に置かれ、必要に応じてご説明するなど、お客様のご納得の上で業務に当たられるようお願いいたします。

○平成26年度正会員・賛助会員会費の納入について

【会費規程/納入期日は毎年4月末日まで】

今年度会費未納の方は、左記により早期に納入くださるようお願いいたします。

振込先 千葉銀行

小原支店

普通口座 3029246

公益社団法人松戸市シルバー人材センター理事長

高橋邦雄

○就業報告書の提出期限を守ってください

就業報告書の提出日は、

翌月3日までとなっています。提出が遅れますと、翌々月の配分金扱いとなりますので、ご注意ください。

26年度年間行事予定

4月 緑と花のフェスティバル¹⁴(4/29)

5月 定時総会(5/29)

クリーンデーに参加(5/25)

6月 センター普及啓発活動(6/13)

7月 安全・適正就業強化月間

10月 センター事業松戸まつり

クリーンデーに参加

11月 シニア交流センターまつり

●就業相談日

就業相談は毎月第3木曜日の午前中にセンター事務所で行っております。お気軽にご相談ください。

また就業情報は、センター事務所の掲示板や、センター

配分金支払日

5月22日(木)
6月13日(金)
7月15日(火)
8月15日(金)
9月12日(金)
10月15日(水)
11月14日(金)
12月15日(月)

のホームページでもお知らせしていますので、ご覧ください。

「千葉県シルバーの日」に大々的なPR活動を

平成26年度広報部会は「千葉県シルバーの日」活動に呼応して、市民の皆様にはセンターの事業内容をより一層理解して頂き、併せて会員募集を図るため、次の要領で大々的な普及啓発活動の実施を計画しております。

●日時▽6月13日(金)

午後3時～4時30分

●場所▽JR松戸、馬橋、新松戸、北小金、新成五

香の各駅頭

●活動▽同所にてチラシ、ティッシュを通行人に配り宣伝活動を行う。

実施については広報部員が中心となり、理事、地域班班長・副班長、ボランティア会員及び同好会会員にもご支援ご協力をお願いします。詳しくは後日文書でお知らせ致します。

なお当日ご都合のつく会員の方は、お近くの駅前にてご支援をお願い申し上げます。

広報部会長 菅原哲夫(3班)

副班長この一年

2班 鈴木啓吾

●6月6日、茨城県守谷のアサヒビール工場見学、25名参加。

●10月24日、野菊の墓、矢切の渡し、柴又の帝釈天見学、13名参加。

アベノミクス、消費増税、原発輸出・再稼働、TPP、年金、対中対韓外交・・・等々問題山積の世情混迷の中で、シルバーパワーの活動を引き出すためにも、こうした見学会を計画して多くの会員が参加し、懇談し、質疑応答などが活発に出来るようになることが大切ではないかと感じました。2班の渡辺理事、安田班長の温かいご指導で1年を楽ししく過ごすことが出来ました。本当に有難うございました。

9班 藤原英明

当班は8班と行動を共にした合同班です。振り返れば、4月は運動公園での花見会、10月は野田市の醤油工場見学、3月には国会議事堂見学会を行いました。参加者は班員の1割強ですが、回を重ねる度

に出会いも増え、お互いの気心も通いあうようになりました。

地域班として今後を維持してゆくには、班員同士が仲間である必要があります。多くの皆さんと情報交換を密に行い、地域の輪を広げて行こうと思います。

4班 西村忠昭

会員になって11年、副班長として4年間務めさせて頂きました。幸い健康に恵まれ、仕事を休むことなく、勤務は週4〜5日に及びましたが、そのために副班長としての職務が全う出来たかどうか疑問です。役員会にも出席出来ず、ただ年4回の書類配布しか出来ず、藤崎班長にお世話になりっぱなしでした。

感じたことは役員会が夜間なら有り難かったということ、そして親睦研修会は会員相互の意思疎通につながるので年2、3回あればよかったかなと思います。

私は3月末で退会となりましたが、4月の親睦会には参加させて頂きます。長い間お世話になり有難うございました。

7班 吉岡義則

地域班の活動を、単発開催から脱皮して、継続した企画を実施したのが、毎月1回の「健康散歩」でした。9月21日にスタートし、毎月第3土曜日に「二十一世紀の森と広場」への集合を会員に呼びかけてきましたが、残念ながら参加者は徐々に減っていき、翌年の1月28日をもって中止しました。地域班活動の理想の姿でしたが、時期尚早だったかも知れず、反省です。恒例の6回目のお花見は開催します。

8班 中村恒久

私たち8班は、9班と合同で毎月定例の班長・副班長会議を開催し、年間行事の計画を始めとして、積極的に意見交換をしております。

春の花見を皮切りに、近隣の名所見学を、3月には国会議事堂の見学を行い、参加会員間の親睦をはかることが出来ました。今後は班行事に一人でも多くの会員の参加が得られるように工夫していくことが大きな課題です。

一方、班会議の中で、一般家庭の単発の就業経験がある会員から就業実態の報告を受

け、地域班としてどのような関わりを持ち、就業拡大に貢献出来るかについて、意見交換も進めてきました。これからも検討を加え、結果が出せるように努めていきます。

11班 松村 宏

人間、ハンドルを握ると人が変わるといいます。同じ変わるのならおだやかな人に変りたいものです。

私も営業車、自家用車を50数年運転して、今日まで無事故で来られたのが誇りです。スピードは控えめに、車間距離は十分に取るなど守れば、かなりの事故が防げます。

ハンドルを握ったらいつもの「初心に帰れ」をモットーに、今日も安全運転・・・私は班の仕事もこの要領で心がけていくつもりです。

12班 老沼正一

この1年は悲喜こももでした。「悲」の部は、会員名簿から会員の名が消えること入院、手術等の情報に接すること。「喜」の部は、センタ一の斡旋で仕事に就きましたという連絡を受けたこと。

「苦勞」の部は、時間的にも体力的にも融通が利かず、

訪問して話しあう場面がなかなか持てないこと。やっぱり健康が一番。26年度も健康で頑張ります。

〈万歩計つけずに歩く一万歩〉
(健康川柳トップ賞)

3班 大曾根一郎

①千葉県西部防災センター体験学

平成26年6月8日、12名で参加。地震体験や消火器訓練等を行い、互いに防災意識の向上を図ることができた。

②清掃活動の実施

平成26年3月11日、ボランティア委員と2班3班合同で32名が馬橋西口通りを中心に実施。駅周辺は大変汚れており、市民の「ごころうさま」の声に感激。今後も活動継続の意を新たにしたい。

1班 杉山泰子

シルバーのお仕事は自分の生活の一部となり、沢山のエネルギーを戴いております。1年前に副班長を仰せ付けられ会報等の配布や親睦をかねての班活動に参加致し、色々な方と出会い、とても充実した楽しい1年でした。これから毎日ヤヨイ・スタートの気持ちで始めたいと思っています。

●平成25年度事故状況●

◆清掃

4.12	物損	67歳女性	am7:30、スーパー店舗で作業中、入り口の傘立てを倒しガラスを破損。(➡賠償¥187,436)
5.1	紛失	69歳男性	am10:00、病院通用口のセキュリティカードを解除後、清掃作業中にカードを紛失。(➡賠償)
10.30	物損	75歳男性	pm2:00、マンション清掃中ガラス窓を閉めた際ガラスにひびが入った。(➡賠償¥22,890)
12.6	傷害	79歳女性	am8:00、屋外トイレ周りの落ち葉清掃中、木の根に躓き臀部から転倒。(➡脊椎圧迫骨折)
H26.1.29	傷害	79歳女性	pm1:15、作業終え徒歩で帰宅途中、駐車場側溝の段差に躓き転倒。(➡右膝打撲左足捻挫)

◆植木剪定

4.23	傷害	76歳男性	am11:50、作業中高さ1.5mのブロック塀の上を移動中、掴まった枯れ枝が折れ転落。胸部打撲。(➡就業中¥6,000)
6.18	物損	69歳男性	am8:45、作業中、柱に立てかけた三脚梯子が倒れ、ガラス1枚破損。(➡物損¥13,440)
7.11	傷害	75歳男性	安全ベルト等を装着せず3m樹木の頂上部を剪定中、踏み込んだ枝が折れ落下。第4頸椎圧迫骨折。(➡就業中¥95,000)
12.16	物損	72歳男性	pm2:00、脚立上でバリカン作業中、隣家の屋根の破風板にバリカンを当て、破損。(➡賠償)
12.17	傷害	72歳男性	am9:10、脚立上で作業中、枝払いでバランスを崩し2メートル下へ落下。(➡肋骨4本骨折)
H26.2.24	物損	71歳男性	am11:40、植木伐採作業中太い枝が隣家のアルミフェンスの一部を破損。(➡賠償)

◆除草

6.5	傷害	68歳男性	am8:45、刈払機の使用者の横を通る際の不注意で刈払機の刃が右膝に接触し負傷。(➡右膝切創¥104,000)
8.10	物損	74歳男性	am11:00、地中に埋まっていた井戸ポンプの電気コードを誤って鎌で切断。(➡賠償¥9,345)

◆その他

4.29	傷害	72歳女性	(普及活動中) am9:00、緑と花のフェスティバルに参加中、坂道で滑って転倒。(➡右肩脱臼¥8,000)
------	----	-------	---

▼就業事故状況

25年度のシルバー就業に係る事故件数は21件(傷害事故)

14、賠償事故7)で、前の24年度30件から大幅に減少しています。今年度は限りなく事故0を

めざすために、25年度の事故の詳細を掲載します。

7.3	傷害	66歳女性	(学童保育中) pm5.45、不意に児童におんぶされて体勢が崩れ、児童の鉛筆が顔に刺さった。(➡右頬骨にキズ¥4,000)
7.3	傷害	69歳男性	(つどいの広場管理) pm1.30、蜂の巣を除去し着地した際足場が悪く右足骨折。
7.12	傷害	74歳男性	(学校巡回修繕) am11.30、完成したすのこを体育館外に運び出す際ブルーシートに躓き転倒。(➡胸部打撲¥64,000)
9.25	傷害	75歳男性	(駐輪場管理) pm4.10、八柱南口の駐輪場で不正自転車点検中、駐輪自転車に接触転倒。(➡胸部の痛み痺れ¥72,000)
9.25	傷害	81歳女性	(家事援助) pm7.30、終業後、新松戸駅でJR電車に乗車したところ雨天で滑って転倒。(➡右股関節骨折¥230,000)
9.27	傷害	73歳男性	(携帯電話運搬) pm5.10、店内作業中ゴミを地下2階に運ぶ際下り階段で転倒。(➡左大腿骨骨折¥72,000)
H26.2.12	傷害	73歳女性	(総菜加工) am7.30、仕事前の準備中、掃除機コードに足を取られ転倒。(➡右足膝蓋骨骨折)

★安全標語★

気がつかぬ 体の衰え 怪我のもと (公益社団法人松戸市シルバー人材センター)

安全は 目くばり気くばり 再確認 (公益社団法人千葉県シルバー人材センター連合会)

安全は 一声かける ゆとりから (公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会)

■お仕事紹介

■植木班

チョキン、チョキン…晴れた空の下で軽快に鳴る鋏の音。庭の立木がみるみる綺麗に整えられていく。まるで樹木の床屋さんだ。「オレもやってみたいな」とつい見とれてしまう手慣れた仕事は、わがシルバー会員の植木班のものだ。収入の面でも良い筆頭に挙げられる植木班。さてどうしたらこの班に入れるだろううか。仕事の合間に、新班長の坂元正勝さんに訊ねた。

まず希望者は植木班担当理事の面接を受ける。面接といっても、意欲や体力が植木職に適しているかをアピールする場と思えばいい。

次にセンター主催の技能講習会(昨年度は年3回)に参加して基本技能を身につけ、各班(12班)に配属されて現場に立つ。

各班のトップは副班長で技術指導も行う。副班長はセンタ―に来た仕事、あるいは顧客の信用や口コミ等で仕事を確保し、班員と共に個人宅や施設での仕事を請負う。その意味で営業責任者でもある。鋏、脚立などの仕事の道具

は個人持ち。報酬は段階的な引き上げ方式で、始め半年間は片付けなどの下仕事でDクラス/1日5000円、そこから半年/1年毎にCクラス/7500円、Bクラス/8500円と上がってゆく。これは副班長会議で班員の習得技能に応じて決定される。

班員は現在60人以上おり、春・秋には4・5人くらいずつ入班する。仕事も毎年10月に入る頃から増えだして、リピーターや新規で3百件を超える場合もあり、多忙になる。



一番心がけていることは? 「まず技能、と言いたいが、怪我防止、安全が第一だね」副班長は保安の責任者でもあり、責任重大だ。補償事故も少なくないこの頃、くれぐれも安全第一をお願いしたい。(山崎 編)

平均寿命と平均余命について

皆さんは自分の寿命を短く計算していませんか。

現在日本人の平均寿命は、男約80歳、女約86歳で世界でも1・2位を争う長寿国民です。

ところで「あと何年生きるか」と、仲間内で老後の生存期間がよく話題になりますが、「今俺は70歳だから平均寿命の80歳から引くとあと10年ていどかな」と考える人が少なくありません。

ご自分の寿命をそんなに短く計算する必要はありません。実際は、70歳男性なら生存期間は平均14年間、女性は19年間生きられると予測されています。これを平均余命と言います。これを平均余命と言います。厚生省が国勢調査をもとに、「国民生命表」として公表しています。

平均寿命と平均余命との違い

平均寿命で誤解されがちなのは、平均余命との混同です。平均寿命とは生まれた赤ちゃん(0歳児)が、とくになにもなければ、ここまで生きるであろうと予測された年月を指します。途中で亡くなる人もいますから、生存年齢を平均すると男80年、女86年となる

り、これが平均寿命です。

一方平均余命とは、ある年齢の人が、その後平均して何年生きられるかを示した年月(期待値)です。0歳児の平均余命は、イコール平均寿命です。前掲の70歳男性の場合には84歳となり、平均寿命の80歳より4年長生きになります。「現在の年齢プラス平均余命」の数字は平均寿命以上になり、長生きすればする程さらに長生きすることが期待されるのです。

時代別平均寿命の推移

紀元前の縄文時代、紀元前後の弥生時代、続く古墳時代の男女の平均寿命は、推定で30〜31歳、室町時代で33歳、江戸・明治・大正期で43〜46歳、昭和初期から終戦直後まで48歳、昭和22年には人生50年を突破し52歳になりました。過去日本列島に住み着いて1万5千年もの間に日本人の寿命は僅か20年程度延びたにすぎず、長命の人種ではありませんでした。

ところが明治時代と現在の百年有余の間に、40年も寿命が延びて、これはまさに驚異的と言えましょう。

寿命が延びた要因

寿命延伸の1番の理由は、乳幼児死亡率の大幅な減少で

す。明治から大正末期頃までは出生児1000人対して150人も死亡していました。

その後しだいに低下し、昭和22年には7〜8人、平成14年には3人にまで減少し、生存率は世界トップクラスになっています。

要因の2番は食生活の改善と結核や脳卒中などの減少が挙げられます。食物摂取量から見て、穀物中心の食生活から、動物タンパク質をきちんと一定量摂る食生活に変わったこと(最近摂り過ぎによる成人病の増加が問題だが)、また抗生物質の普及による感染症の減少など、医療全般・保健衛生の向上なども大きく貢献していると言われます。

3番目は高齢者の人口比率の増加です。大阪万博の頃65歳以上の人口比率は7%、現在は25%にもなっています。皆さん自分の子供時代を思い出してください。当時60歳を過ぎた大人を見ると「おじいさん・おばあさん」のイメージを強く持たれた筈。ところが現在はあまり年齢を感じさせない、じじばばらしからぬ人が増えています。

また百歳以上の生存者数でも、50年前なら日本全体で500人位でしたが、今ではなんと5万人以上で、そのまま一つの都市ができる程です。

平均寿命が延びたことに感謝

昭和の戦前・戦中・終戦直後に生まれたシルバー世代の私たちは、大いに感謝しなければならぬことがあります。それは生まれた当時の男女平均寿命が48歳、今は83歳と、35年も延びていることです。つまり生活習慣の変化・医療技術の進歩・保健衛生の向上・社会福祉制度の充実などがあればこそで、これが無ければ寿命は延びず、今頃は大半の方がこの世に存在しなかった筈です。

私たちは、長寿社会の形成に尽力いただいた方々に感謝し、併せて良き時代環境に巡り合わせた幸運をお互いに喜び合いましょ。そしてこれからの余命の健康管理と人生設計をしっかり立て、実践する努力を日々重ねてゆきたいものです。(今田編)

会員のひび

青葉若葉と共に新年度がスタートしました。会員諸氏の気持ちの高揚に合わせ、今号は余暇活動や親睦に資する様々な会員活動を拡大紹介いたします。たまには心の健康にも肥やしましょう！

地域社会を担うシルバー人材センター!!

「賛助会員」募集集中

松戸市シルバー人材センターは、働く意欲のある高齢者に就業機会を提供し、生きがいの充実と福祉の増進を図っております。同時に多様な仕事をお引き受けして活力ある地域社会への貢献をめざしておりますが、何よりも地域社会の篤いご支援こそ必要です。そこで「賛助会員制度」を設け、皆様方のご協力を仰いでおります。

つきましては本制度の趣旨にご理解ご賛同を頂き、本会員にご入会されて、センター事業の一翼を担って頂きたい心からお願い申し上げます。会費は次のようにさせて頂いております。

○個人会員／年会費(1口) 1500円
○法人会員／年会費(1口) 3000円

ご入会後は会報「はつらつ松戸」を発行の都度お送りし、同誌にお名前を掲載します。お申込みの詳細については、当センター事務局までご連絡頂きたく、なにとぞよろしくお願ひ申し上げます。連絡先：330/5005

ボランティア活動

■春のボランティア清掃活動

3月11日(火)、馬橋駅西口からシルバー人材センターまで、歩道周辺の清掃活動を実施。当日は第2、第3地域班の応援もあり、総勢29名が参加しました。

終了後、懇親会を催し、和やかに閉会しました。

なおボランティア活動の会



員を募集中です。ご希望の方は事務局までご連絡下さい。

同好会に来ませんか

■絵本読み語り同好会

年間訪問施設108回に

松戸市内の幼稚園、保育所、親子DE広場、老人ホーム等を



訪問し、絵本や紙芝居の読み語りを行う私達のボランティアが、4年目にして益々好調

「秋桜」グループより感謝状も頂きました。

毎月第1火曜日定例会に参加しませんか。

連絡先／島田忠巳(7班)
(電話341・3544)

■手工芸同好会

若葉の季節です。私たちの同好会は10年前4人で始め、現在15名になりました。忙しい仕事の合間に自分の好きなモノを作り、分らないところだけ教え合ひし、今ではどんなとひとり立ち出来る腕前です。シニア交流センターまつりには作品を展示販売もしています。新年会、花見会なども楽しい会です。一緒にやりましょう。

連絡先／高橋久子(5班)
(電話367・2317)

■グラウンドゴルフ同好会

・26年度大会予定

- 第1回 5月21日(水)
- 第2回 9月17日(水)
- 第3回 11月12日(水)

いずれも午後1時開始。新会員の参加を歓迎します。

連絡先／中川忠興(12班)
(電話386・7433)

■フラダンス同好会

毎月第2月曜日、午後1時から(4時30分まで)胡録台のお店「胡録」をお借りして、皆さんとフラダンスを楽しんでいます。曲の振り付けを覚えてセンターの総会アトラク

ターまつりで発表もします。身体を動かしたあとは情趣あふれるカラオケタイム。笑顔に会話もはずみ、共に踊り歌う喜びに感謝するひとときこそ宝です。どなたも参加大歓迎。お待ちしております。

連絡先／小竹和子(5班)
(電話360・0038)

■カラオケ同好会

会が発足して今年4月で満7年。毎月1回、第3木曜の正午に総台駅前のカラオケ喫茶「花」に集合。5時まで歌い愉しみます。会費は毎回千円。1人約5曲くらいは歌いますね。会員は発足当時の14名が、現在は約100名。女性のうち5名は老人ホーム「創生」でカラオケボランティアもしています。毎回の参加者は25名前後です。

発足当初から小林代表が総括世話役、渡辺さんが選曲機器の操作、美人ママの茶菓のもてなしという変わらないお世話で会は円満に進行。ボー

ズ社の優れた音響のもとで歌えば、頭脳の退化防止は勿論のこと、肺機能の強化など健康にも効果大です。

曲目は演歌中心ですが、歌曲あり男女のデュエットあり、他人の唄の批評は一切しないという暗黙のルールの中で、「習うより慣れろ」とばかり皆さん歌が上手になっ

ています。仕事の話題や同僚の消息など情報交換も有意義。たまたアルコールは原則禁止。歌うのが好きな方ならどなたも大歓迎。(谷地田由夫・5班)
連絡先／小林久芳(5班)
(電話367・6579)

■その他の同好会

▼囲碁クラブ

毎月第2金曜日定例会、市民会館305号室(ながいき室) 連絡先／高橋 公(5班)
電話／364・2390

▼民謡・舞踊愛好会

連絡先／関 政成(11班)
電話／389・7605

駐輪場だより

■優先駐輪コーナーの新設に

お客様の感謝の声

最近チャイルドシートの付いた比較的大型の電動自転車の利用者が多くなった。そのためここ総台駐輪場で

は、市の交通政策課やセンターの担当者に相談し、対策を検討してきたところだが、その結果駐輪場運用の仕方として、屋根付きで一定のスペースを確保することができた。そこで市役所及びセンターの許可を得て、このコーナーに「チャイルドシート付自転車優先駐輪」の看板を掲げ、利用に供することとした。

現在約30台のご利用があり、特に子育て中の若いお母さんたちから感謝の声が届き、私たちの大きな励みになっている。 山口宗重(12班)

■駐輪場に新・料金表

八柱駅南口駐輪場に消費税改定後の「利用料金表」が掲げられました。当駐輪場勤務の五月女純会員の手作りで、分かりやすいと好評です。 老沼正一(12班)

区別	第一駐輪場	第二駐輪場	第三駐輪場	第四駐輪場	第五駐輪場
一般	7540	7020	7020	7200	8200
7ヶ月	4620	3060	3060	2760	2460
3ヶ月	9240	6120	6120	4320	4920
6ヶ月					3060

定期シール自動発売機 2014.04.11



〔45号の続報〕
昨年、河原塚小2年(当時)の「町探検隊」が八柱駅南口の駐輪場を訪れ、感謝を絵にして送ってくれました。子どもの発想はいつも新鮮です。



歌のコーナー

俳句

春の雨新芽ながめて心待ち
若井正幸(8班)

丸山正春さまを悼む

松本有介(9班)

芽の吹いて魍魎魍魎のうかと
出づ

話し声一人静の脇を行く
万緑や回転ドアの人こぼす

白梅や江戸つ子の裏地さりげ
なし

島田忠巳(7班)

浮島も翡翠色に染まりけり
飛びたくて浮かんできたか源

五郎
尼寺の竹の皮脱ぐ白きこと
どこまでも空まさをなり鑑真

忌
山崎修平(12班)

蝌蚪二つ三つ四つ七つ星の数
発つ朝の子は振向かず梅真白

椿散るとき南方の星光る
鰯逃ぐる人は追ひゆく春の果

川柳

田沼國男(7班)

孫が言う守本アナはマシユマ
口似

千鳥足回転寿司で目が回る
百円で一日置ける駐輪場

老沼正一(12班)
手術前医者は書かない誓約書
枰酒のある神社だけ初参り

短歌

小倉美枝子(賛助会員)

さざえ焼き身を抜く首をひね
りつつ

房総の白波そよぐ海風に菜の
花香る春色やさし

村中美津子(賛助会員)

春の風乗ってサイクル江戸べ
りを野草菜の花新芽ゆらゆら

春うららじゅんさい池の梅ま
つり野点人まねやすらぐ心

根岸敦子(2班)

友と来し梅花見頃のじゅんさ
い池優しく流れる時間を愉し
む

フラワーライン右も左も色と
りどりどの花摘もうか迷いも
たのし

■畑の会、「緑と花のフェス
ティバル」に出店

旭町の畑。野菜作りの名人
達にアドバイスを受けながら、
又機械を動かせる人も居て、
春時に取りかかり、今はじゃ
が芋、里芋、枝豆を植え付け
てます。楽しみです。

■松戸市の各種健(検診)を
受診しましょう

年に一度は健(検)診をう
けましょう。とくに「癌(がん)」
の早期は自覚症状がありません
定期的に検診をうけることが
早期発見のポイントです。

……事務局

編集後記

本誌年3回発行の度に季節の移ろいと時の流れの早さを痛切に感じると共に、節氣毎の旬の食物を求めている自分に気づきます。

春ならアサリ◎タラの芽・コシアブラ◎真竹の筍◎ワラビ・鯉

夏ならイサキ・桜桃・シロギス・岩牡蠣

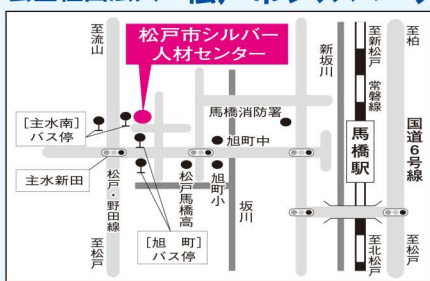
秋、冬なら◎ハゼ・真牡蠣◎鮭麹漬・ヤリイカ

通年なら◎飛び魚のくさや◎蒸しアワビ◎牛タン・鯉

く……最後の晩餐が近づいたら少し日にちをかけて◎を食べてから逝きたいと思う。皆さんも春の夜の一興に「最後の晩餐」を思ってみては如何？

(岡崎編)

公益社団法人 松戸市シルバー人材センター



※県立馬橋高等学校を目印にお越し下さい。
JR馬橋駅西口より徒歩25分 ●JR馬橋駅西口発(京成バス)松戸駅行き 旭町下車3分

〒271-0043 松戸市旭町一七四
TEL 0477-3101500
FAX 0477-3101500
・月曜日から金曜日
午前8:30～午後5:00
・土・日・祝日及び年末年始は
お休みです。